

文化の日に 市政功労者を表彰します

問合せ 秘書課
☎754・6201

11月3日(祝)の「文化の日」に、表彰条例に基づき市政に寄与・貢献された方々を表彰します。また、日頃からさまざまな分野で活躍、善行奉仕をされている方々に感謝状を贈呈します。掲載の了解をいただいた受賞者は下記のとおりです。(順不同・敬称略)

功労賞

- 自治振興(6人) = 木田公彦、長尾伊織、福井誠、北浦博、梶田忠彦、福田哲郎
- 教育文化(1人) = 杉本章夫

感謝状

- 自治振興(17人) = 青池孝、岩井幸夫、勝井和代、金谷昇、瓦林建、齊藤俊雄、阪上宏平、柴田愛子、杉村好昭、西岡清二、橋本肇、廣芝佐代子、藤阪誠、松岡慶次、森祐文
- 教育文化(個人/5人) = 稲見文夫、篠原沢雄、原田忠信、廣岡紀博、安澄健次郎
- 教育文化(団体/1団体) = 女声合唱団アルテミス
- 体育・スポーツ(個人/2人) = 堤政勝、藪内勝美
- 体育・スポーツ(団体/1団体) = 池田市空手道連盟
- 公安消防(3人) = 河合誠司、秦寛房実、森孝善
- 社会福祉(1人) = 西田明紀
- 善行(2人) = 上林修、松井紀男

大切な命を火災から守るために 住宅用火災警報器を設置しましょう

ID 3080
問合せ 予防課
☎754・3511

「住宅用火災警報器って聞いたことはあるけど、詳しく知らない」「そもそも設置しないといけないの?」このように思っている方も多いのではないのでしょうか。

「住宅用火災警報器とは何か」「設置することでどんなメリットがあるのか」をお知らせします。

住宅用火災警報器とは?

池田市火災予防条例で設置が義務付けされており、火災により発生する煙や熱をいち早く感知して警報音や音声を発し、火災の発生を知らせるものです。

全国の住宅火災による死者は毎年1,000人前後で推移しており、そのうち約7割は高齢者が占めています。

死者の約半数は「逃げ遅れ」が原因で亡くなっています。その理由として夜間の就寝中に火災が発生していることが多いのが挙げられます。

住宅用火災警報器設置のメリットとは?

少しでも早く火災に気づくことで初期消火や安全な避難が可能です。

設置する場所は?

基本的に「寝室」と「寝室がある階の階段上部(1階の階段は除く)」に設置することが必要です。

また、住宅の階数などによっては、その他の箇所にも必要になる場合があります。ただし、すでに自動火災報知設備などが設置されている場合は、住宅用火災警報器の設置が免除されます。

台所については、本市では住宅用火災警報器の設置義務はありませんが、火気使用の頻度が多いことなどにより設置することを推奨しています。

設置から10年が経過したものは新しいものへ交換しましょう。
大切な命を火災から守るため、必ず設置・点検をお願いします。
住宅用火災警報器について不明なことがあれば、お気軽に同課までご連絡ください。



IKEDA TOPICS
イベント

池田を歩いて文化を堪能
文化財公開ウォーキング

問合せ 社会教育課
☎754・6674

市文化財保護審議会委員が同行し、西国街道周辺の文化財を解説しながら紹介します。
また、公開ウォーキングでは初めてダイハツ史料展示館「ヒューモビリティワールド」の見学を行います。(解説・室田卓雄委員)

日時 11月30日(土) 8時35分石橋駅前公園集合 (小雨決行)
定員 30人 (先着順)
持物 水筒、タオル
申込 11月5日(火) 9時から電話で社会教育課 ☎754・6674

嘉永元年奉納算額



コース

石橋駅前公園
(8時40分出発)

↓
旧石橋村周辺散策

↓
住吉神社
(9時30分～9時45分)

↓
十二神社
(10時15分～10時20分)

↓
ヒューモビリティワールド
(11時～12時解散)

住吉神社 (住吉2-3-18)

●算額[文化3年・嘉永元年奉納] (共に市指定文化財)
算額とは日本独自に発展した数学「和算」の問題を、絵馬として奉納したものです。住吉神社には2面残されており、そのうち、文化3(1806)年の算額は府内最古のものです。

十二神社 (豊島南1-2-9)

●防空壕跡
地元の人々により、昭和18(1943)年に造られました。中はコンクリートで固められ、30人ぐらいが避難できる大きなものです。現在は危険防止のため、埋められています。

ヒューモビリティワールド (ダイハツ町1-1)

明治40(1907)年設立の発動機製造株式会社(現ダイハツ工業株式会社)は、昭和13(1938)年に池田で機械工場・プレス工場を建設、翌年に工場操業が始まります。戦後、池田工場は三輪自動車生産の拠点となります。展示館は平成19(2007)年開館、三輪自動車なども展示しています。

IKEDA TOPICS
イベント

文化探訪ラリーに参加しよう
IKEDA文化DAY

問合せ いけだ市民文化振興財団
☎761・3131

期間内に下記チェックポイント(文化施設13カ所。どこからでもスタート可)を巡るウォークラリー形式のイベントです。期間内に各所のスタンプを全て集めてゴールへ行くと、全員に参加賞と抽選で素敵な賞品をプレゼントします。

日時 11月2日(土)～4日(日)10時～16時
(雨天決行)

内容 各チェックポイントでラリーカードを受け取り、ラリーを周る

チェックポイント▼(ゴール・抽選会場: 池田駅前てるてる広場 11時30分～16時30分)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| ① 池田商工会議所 (市民総合文化フェア) | ⑦ 五月山児童文化センター |
| ② 中央公民館 (市民総合文化フェア・いけだ観光スポット写真コンクール) | ⑧ 池田城跡公園 |
| ③ 逸翁美術館 | ⑨ 落語みゅーじあむ |
| ④ 小林一三記念館 | ⑩ ギャラリー糸 |
| ⑤ 歴史民俗資料館 | ⑪ カップヌードルミュージアム 大阪池田 |
| ⑥ 五月山緑地都市緑化植物園「緑のセンター」 | ⑫ ギャラリー「ギャルリ VEGA」 |
| | ⑬ 市立ギャラリーいけだ |



▲IKEDA文化DAY
ホームページ

市内各地で関連イベントを開催しています。詳しくはIKEDA文化DAYホームページをご覧ください。

IKEDA TOPICS
イベント

ダイバーシティをチカラに
ツナガリエ石橋まつり

問合せ ①わたぼうし ☎761・6777
②石橋図書館 ☎760・2383
③ダイバーシティセンター ☎735・7588

ツナガリエ石橋のお祭りです。子どもから大人まで、誰でもお越してください。

日時 11月16日(土)10時～16時

1階ロビー

①「あっぷうさんのちいさな人形劇」

人形劇団あっぷうによる人形劇。

時間 10時～10時30分

対象 未就学児と保護者

定員 10組 (先着順)



人形劇団 あっぷう

②おはなし会

絵本の読み聞かせなど。

時間 11時～11時45分

対象 幼児～小学生

定員 30人 (先着順)



おはなし会
(昨年の様子)

③インドネシア ガムランの演奏と人形劇

マジカマメジカ & Tidak apa-apa (ティダ・アパアパ) による演奏など。

時間 13時～13時45分

対象 小学生～大人

定員 30人 (先着順)



マジカマメジカ & Tidak apa-apa



▲申込フォーム

④インド舞踊

本市在住の親子によるインド舞踊。

時間 14時～14時30分

定員 30人 (先着順)



インド舞踊
(昨年の様子)

⑤ミニ寄席

猪名川亭水車「くしゃみ講釈」、
猪名川亭幸穂「ハナコ」。

時間 15時～16時

定員 30人 (先着順)



▲申込フォーム

申込 ①11月1日(金)10時からわたぼうしの予約システムまたは電話、②⑤11月2日(土)10時から石橋図書館の窓口または電話、③④11月1日(金)9時からダイバーシティセンター申込フォーム

ツナガリエ石橋スタンプラリー

全フロアを回ってスタンプを集めた方に
景品を進呈 (先着100人)。

場所 玄関付近で受け付け

2階

①わたぼうし体験

広場の体験など。

時間 10時～12時、13時～16時

対象 おおむね0～3歳児と保護者

定員 各回10組 (先着順)

5階フロア

②IDCで多文化体験

インドネシア、メキシコ、ベトナムのミニワークショップ
やお茶など。

時間 11時～15時 (売り切れ次第終了)

インド民族衣装着付け体験

時間 15時～16時

定員 10人 (先着順)

申込 11月1日(金)9時から

同センター申込フォーム



▲申込フォーム

4階パソコンコーナー

③電子図書館体験会

電子図書館の利用案内と操作体験。

時間 10時～16時

対象 市在住・在学・在勤の方

持物 図書館カード (当日発行可能)、スマートフォン・
タブレットなど



40歳になったら 年に1回、 健診を受診しましょう

【問合せ】〈国民健康保険加入者〉国保・年金課
☎754・6253
〈後期高齢者医療制度加入者〉保険医療課
☎754・6258

対象者

本市国民健康保険に加入中の40～74歳の方
後期高齢者医療制度に加入中の方

※受診日当日に国民健康保険（または後期高齢者医療制度）の資格がなくなっている場合は受診できません。また、特定健診・後期高齢者健康診査を受診する場合は、同一年度の人間ドックの補助は受けられません。

40歳から74歳までの方は…

無料

【特定健診】の対象です。

腹囲測定や血圧測定、尿検査といった基本的な検査と、生活習慣についての問診を行い、その結果からメタボリックシンドロームの危険性レベルを判定します。健診で早期発見して、生活習慣を改善しましょう。

75歳以上の方は…

無料

【後期高齢者健康診査】の対象です。

糖尿病や高血圧症などの生活習慣病に加え、加齢に伴う心身の衰え（フレイル）などのチェックを行います。



利用の流れ

1

予約する

- 医療機関での受診
受診券に同封の実施医療機関に直接予約してください。
- 休日急病診療所での受診
同所 ☎752・1551 で受け付けます（木・土曜日は休館日）。

2

受診する

受診券と健康保険証などを持って医療機関へ。



3

結果を確認

検査結果の通知は、来院での説明または郵送で行います。



特定健診の結果、生活習慣の改善が必要な方には**特定保健指導**が行われます。

※本市国民健康保険の方が対象です。後期高齢者には、健康相談のご案内を送付しています。

受診券を発行（再発行）したいときは？

本市国民健康保険に加入中の方は、直接国保・年金課または電話、電子申請（ぴったりサービス）で発行できます。後期高齢者医療制度に加入中の方は保険医療課または府後期高齢者医療広域連合（☎06・4790・2031）にお問い合わせください。

IKEDA TOPICS

11月1日から受け付け

問合せ 幼児保育課
☎754・6208

子育て

保育施設の新規入所・転所申し込み

7年4月の保育施設の新規入所受け付けを始めます。申込書は幼児保育課で配布、または市ホームページからダウンロードできます。

対象 保護者が共働きや病気などの理由で保育を必要とする家庭

費用 保育料（3～5歳児は無償）、給食費（3～5歳児）、個人用保育用品費など

申込 次の①②の方法で受け付け

①11月1日（金）～12月13日（金）に、必要書類を持って直接幼児保育課（土・日曜日、祝日は除く）

②11月1日（金）～29日（金）（消印有効）に特定記録や簡易書留などの配達記録が残る方法で幼児保育課（☎563-8666、住所不要）

※期間中に申し込みができない方は、7年1月31日（金）までを2次利用調整として受け付けます。また、6年度中に入所申し込みをした方で7年4月以降も入所を希望する方は、再度申し込みが必要です。その他詳細は、同課で配布する「保育施設入所ガイド」または市ホームページをご覧ください。

窓口混雑状況確認システムをご活用ください

窓口の混雑状況を見ることができます。右記二次元コードから「4階」タブ内の「保育施設への入所・転所」または「その他保育所に関する相談」をご覧ください。ご案内は2つのメニューを合わせて順番に行います。



▲窓口混雑状況確認

AI保育コンシェルジュに相談

24時間365日、質問に自動でお答えする、AIを活用した相談システムです！
保育所のこと、いつでも相談してね。



▲AI保育コンシェルジュ

IKEDA TOPICS

認知症啓発イベント

問合せ 地域支援課
☎754・6288

イベント

オレンジフェスタ2024

認知症は誰もがなり得るものであり、多くの人にとって身近なものになっています。一人一人が「自分事」として捉えていくことが必要です。

認知症について正しい理解をし、誰もが穏やかに生活していくためにどうすれば良いのか考えます。ぜひお気軽にお越しください。

日時 11月30日（土）14時～16時

場所 市役所7階大会議室



いけだ オレンジパートナー

第1部 講演 「認知症とは」

講師 府認知症疾患医療センター・森本一成

認知症の症状や早期受診の大切さ、治療や薬のこと、家族や周囲の関わりについて分かりやすく解説します。

第2部 パネルディスカッション 「池田のいま、これから」

民生委員・児童委員、地域包括支援センター職員、ケアマネジャー、オレンジ（認知症）カフェに携わるオレンジパートナーなど地域を支える方々をパネラーに招き、ディスカッションを行います。認知症になっても住み慣れた本市で生活していくために、現状を共有し、地域でできることを考えます。

申込 電話または下記二次元コードから



IKEDA TOPICS
イベント

舞台上で魅せろ!究極の芸
社会人落語日本一決定戦

問合 社会人落語日本一決定戦
大会事務局
☎753・4443

「池田でアマチュアの落語家をたくさん育てていきましょう」

落語みゅーじあむの名誉館長である桂文枝さんの熱い思いから始まった「アマチュア落語講座」の開設から2年後に第1回目が開催された「社会人落語日本一決定戦」は、今年で16回目を迎えます。落語みゅーじあむで育ったアマチュア落語家はもちろん、仕事や家庭を抱えながら落語に打ち込む総勢339人の応募を全国、そしてアメリカからいただきました。年々、予選会からハイレベルな戦いが繰り広げられています。出演者の思いが詰まった熱い「笑い」をぜひお楽しみください。



予選会

事前審査を通過した約160人が6つの会場で落語を披露。

時間 12月7日(土)11時(開場10時30分)

場所 落語みゅーじあむ、中央公民館、池田駅前南会館、市役所7階大会議室、市民活動交流センター、西光寺



決勝戦

予選会を勝ち進んだ10人が市民文化会館の舞台上で競います。日本一が決定する大舞台の笑いと感動をぜひ一緒に。

時間 12月8日(日)11時(開場10時30分)

場所 市民文化会館

〈審査員〉桂文枝(大会統括)、桂小文枝(落語家)、木下昌輝(作家)、日高美恵(よせびっ編集者)

※決勝戦の観覧は、入場券が必要です。同券は落語みゅーじあむ(☎753・4440)で配布しています。



阪急「石橋阪大前駅」西口から徒歩約8分
無料駐車場あり(約70台)